

# 千葉大学病院を受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年7月5日

脳神経内科

脳神経内科では、神経疾患患者における骨粗鬆症の病態に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2006年1月1日～2023年7月5日の間に脳神経内科で診療を受けた次の疾患の方が対象となります。

- ①神経免疫疾患（重症筋無力症、視神経脊髄炎、慢性炎症性脱髄性ニューロパチー、自己免疫性脳炎、神経サルコイドーシス、ランバートイートン症候群、スティッフパーソン症候群など）
- ②筋疾患（筋ジストロフィー、皮膚筋炎、多発筋炎、封入体筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチーなど）
- ③その他の神経疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症など）

## 1. 研究課題名

「神経疾患患者における骨粗鬆症の病態」

## 2. 研究期間

2023年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

神経免疫疾患の患者さんにおいてステロイド性骨粗鬆症や続発する骨折の病態を把握し、治療を確立していくことが目的です。2006年1月1日から2027年3月31

日までに脳神経内科で神経免疫疾患の患者さんを対象に骨密度測定、全脊椎 X 線写真撮影、骨代謝マーカー測定などのデータを収集解析するとともに、骨折がないかどうか追跡調査を行います。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

骨密度：レントゲン (DEXA 法) で患者さんの腰椎、大腿骨、前腕骨などを撮影し、骨密度を測定します。

全脊椎 X 線写真：レントゲン撮影によって背骨の骨折評価を行います。

骨代謝マーカー：血液検査で測定します。

その他、患者様の診断名、性別、年齢、modified Rankin Scale、合併症、既往歴、併用薬、骨折の有無などの診療録に記載されている情報を使用します。

上記は通常診療の中で得られる情報のみで、研究目的に新規に計測を行うものではありません。

#### 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学 診療講師 鵜沢 顕之

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院脳神経内科医局解析室で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なく

お申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院脳神経内科

医師 鶴沢顕之

043(222)7171 内線5414